

令和6年度進行管理・評価シート
前橋市歴史的風致維持向上計画（令和4年12月20日認定）
（最終変更 令和7年4月1日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 関係部局との連携体制について		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 歴史的建造物保全支援事業(1-6)		2
2 歴史的建造物修理・復元等検討事業(1-7)		3
3 景観誘導ガイドライン策定事業(2-1)		4
景観計画改定事業(2-2)		4
広瀬川河畔景観形成重点地区拡張事業(2-3)		4
4 天狗岩用水周辺環境整備事業(2-5)		5
5 前橋駅周辺歴史的景観向上事業(3-2)		6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 大手門可視化・出土品活用事業(1-1)		7
2 前橋公園内歴史的拠点創出事業(3-1)		8
3 ヒストリックランドマーク整備事業(3-3)		9
4 群馬総社駅整備事業(3-4)		10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財・歴史文化遺産活用事業概要		11
2 酒井氏歴代墓地整備推進事業(1-2)		12
3 文化財保存活用地域計画策定事業(1-3)		13
4 未指定建造物等調査計画策定・実施事業(1-4)		14
5 民俗芸能・祭礼行事等支援事業(1-5)		15
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 ヒストリア前橋4月26日開館「四つの危機」乗り越えた「民力」		16
2 臨江閣に指定管理者		
3 前橋空襲の記憶 マンホール刻む		
4 3年30ヵ所整備 旧町名の案内板整備事業		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民学芸員養成事業(1-8)		17
2 前橋学ブックレット発行事業(1-10)		

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		18
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

関係部局との連携体制について

☐実施済
☒実施中
☐未着手

計画に記載
している内容

計画の策定及び推進は、まちづくり・文化振興・文化財保護に関わる部署が連携・協力して進め、関係部課長会議等により、連絡調整や実施状況の管理・評価を行う。法定の「前橋市歴史まちづくり協議会」は、定期的に開催し、計画進捗や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆歴史まちづくり協議会…2回開催(R6.5.21、R6.12.18)
当年度事業の進捗報告及び次年度事業について意見聴取を行った。
◆ヒストリックランドマーク整備事業専門部会…2回開催
爆撃中心点(標準点)及び旧町名看板の整備に関する協議をそれぞれの専門部会にて実施した。
(詳細は③-3ヒストリックランドマーク整備事業を参照。)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

前橋市歴史まちづくり協議会 委員名簿

前橋市歴史まちづくり協議会 委員名簿

委員 (学識・関係民間団体の区分は五十音順)				
区 分	氏 名	所 属	備 考	
1	手 島 仁	(一社)群馬地域学研究所 代表理事	会長	
2	戸 所 隆	群馬県文化財保護審議会 会長 高崎経済大学 名誉教授	副会長	
3	村 田 敬 一	前橋市文化財調査委員会 委員長	副会長	
4	石 井 繁 紀	前橋商工会議所常議員 株式会社設計 代表取締役		
5	川 端 利 保	(公財)前橋観光コンベンション協会 専務理事(兼)事務局長		
6	日下田 伸	都市再生推進法人(一社) 前橋デザインミッション 事務局長(兼)企画部長		
7	小 坂 和 成	文化スポーツ観光部長		
8	飯 塚 佳 雄	都市計画部長		
9	片 貝 伸 生	教育委員会事務局教育次長		

ヒストリックランドマーク整備事業(爆撃中心点)専門部会
委員名簿

区 分	氏 名	所 属	備 考
1	手 島 仁	(一社)群馬地域学研究所 代表理事	
2	戸 所 隆	群馬県文化財保護審議会 会長 高崎経済大学 名誉教授	
3	吉 沢 芳 忠	日本女子大学 名誉教授	
4	小 坂 和 成	前橋市文化スポーツ観光部 部長	市
5	飯 塚 佳 雄	〒代田町二丁目自治会 会長	
6	伊 藤 大 介	中央通り商店街組合 会長	

※R6.4.1人事異動により阿佐美部長から変更

ヒストリックランドマーク整備事業(旧町名)専門部会
委員名簿

区 分	氏 名	所 属	備 考
1	手 島 仁	(一社)群馬地域学研究所 代表理事	
2	戸 所 隆	(一社)群馬県教育振興会 理事	
3	飯 塚 佳 雄	前橋市自治会連合会城南地区 代表理事	
4	飯 塚 佳 雄	前橋市自治会連合会城南地区 代表理事	
5	飯 塚 佳 雄	前橋市自治会連合会城南地区 代表理事	
6	飯 塚 佳 雄	前橋市自治会連合会城南地区 代表理事	

前橋市歴史まちづくり協議会 まち歩きの様子



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1 歴史的建造物保全支援事業(1-6)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	特定要件を満たす歴史的建造物や歴史的風致形成建造物について、外観保全に係る修理・修景に対する支援や、有形文化財の登録に必要な調査費等を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆歴史的風致形成建造物指定件数…実績3件／当初計画3件 ◆歴史的風致形成建造物改修費助成件数…実績2件(うち1件は次年度へ繰越し)／当初計画2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域住民の方向性の相違については、説明会や勉強会を開催し理解を求める。		
状況を示す写真や資料等			
1 歴史的風致形成建造物の指定、指定標識の設置			
			
2 歴史的風致形成建造物の改修費助成(内外装可、改修費の2/3、上限500万円)			
①都丸賀津夫家(屋根塗替え、雨樋改修)			
			
②阿久津静治家(雨戸改修、外壁補修等)			
			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
2 歴史的建造物修理・復元事業(1ー7)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	旧国立原蚕種製造所事務棟、藩営前橋製糸所、波宜亭、生糸改所など、街なかの歴史的風致に由来し、すでに滅失されたものや郊外に移転した歴史的建造物の活用方法について研究し、移築・復元の是非を含め、将来的なあり方を模索する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆内部において、対象とすべき建造物等の検討を行った。 ◆経済界向けの説明会を実施し、歴史的建造物への復元事業に関する機運の醸成を図った。(R6.12.3) ◆市民向けの出前講座を開催し、歴史的建造物の活用に関する機運の醸成を図った。(R6.6.8、R7.2.12)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		建造物の移築や復元については、市民や各種団体から要望等があるものの、引き続き調査を続けていく。	
状況を示す写真や資料等			

経済界向けの説明資料(抜粋)

地区の歴史的建造物の現状や官民連携の力による活用の在り方について説明した。

厩橋地区の現状



ゴールはどこのか？

ゴールのヒント①

過去4回の都市消滅の危機を「官民連携の力」で克服してきた歴史を計画の柱に据える。



市民向け出前講座資料(抜粋)

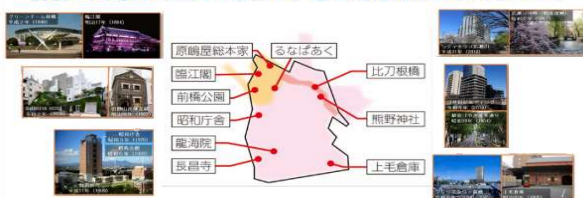
歴史的風致維持向上計画における重点地区の取り組みを紹介し、本市の誇るべき歴史的資産について説明した。

重点区域とその取り組み



重点区域① 厩橋地区

前橋の大局的な歴史を象徴し、最も活性化が望まれるエリア



歴史的なものと都市的なものが共存する街並みを生かして、さらなる前橋らしさを創出するため「History×Urban」を基調とする。

前橋市 37

重点区域とその取り組み



重点区域② 総社及び総社山王地区



前橋市 41

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
3 景観誘導ガイドライン策定事業(2-1)、景観計画改定事業(2-2) 広瀬川河畔景観形成重点地区拡張事業(2-3)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 平成21年10月に策定した景観計画を歴史的風致維持向上計画と連動させる形で改定するとともに、関連する各種条例を改正し、歴史的風致の維持向上を阻害する要因の規制などを盛り込む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆景観計画改定事業:改定方針及びスケジュールを第22回前橋市景観審議会に報告(R7.1.24)

◆赤城山景観ガイドライン:群馬県と前橋市が連携、WSを5回開催しガイドラインを策定。

◆広瀬川河畔地区まちなみ景観協議会:地元協議会に広瀬川河畔地区における市の事業の進捗状況・実績の報告と意見交換を行った。(R6.6.26)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和6年度の動き

- ・群馬県、地元住民・関係団体と連携し、赤城山景観ガイドラインを策定した。
- ・景観計画改定について、令和8年度内の策定を目指すことを景観審議会に報告。
また、本文改定内容について内部検討に着手した。
- ・広瀬川河畔景観形成重点地区拡張については、地元住民の意向も十分に確認しながら引き続き検討する。

赤城山景観ガイドライン(抜粋)



5-2 賑わいエリアのデザインコード

賑わいエリア——大洞商店街

広告物ではなく、賑わいを見せる

- 建築物の外壁や建築物前の広告物の数、面積、高さをしてできるだけ抑え、歩行者にとって効果的に配置する
- 建築物の2階以上には屋号以外の広告物を設置しないことが望ましい
- 建築物のガラス面を埋めるような貼り紙は可能な限り避ける
- 広告物のベースとなる色、高さ、書体、設置場所などは周辺から大きく違和感のないよう努める

建築物につける広告物を整理し、外観をすっきりさせるとともに、歩行者の目線で見えやすい効果的なものとしましょう。

店舗前に置くのぼりや立て看板などは必要かどうか検討し、数、面積、高さを抑えましょう。店舗のまわり、商店街のまちなみを考慮し、一体感をつくりましょう。

× あかぎ食堂

伝えたいことが多すぎたり、まとまりがないと見づらくてしまう

広告物ばかりが目に入り、店の中の様子が見えない

○ あかぎ食堂

建築物の2階以上は屋号のみ

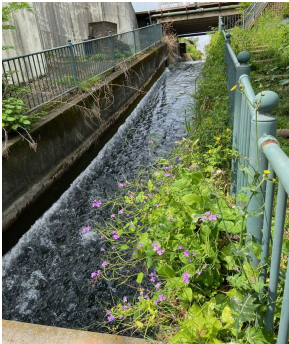
画に対する文字の大きさを図ためにし、切り文字など建築物の素材を活かす

ポスターなどの貼り紙は位置やサイズを決める

ガラス面をスッキリさせると開放的で入りやすい雰囲気

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
4 天狗岩用水周辺環境向上事業(2-5)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	世界かんがい施設遺産である天狗岩用水沿いの環境の向上のため、各種団体を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
※各団体との打ち合わせ回数、支援額などが指標となり得る。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・具体的な支援対象、支援額等について内部で検討を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
現時点では、総社地区自治会連合会、環境美化推進委員会、前橋市立第六中学校の生徒が清掃・保全活動をしている。 また、有志の手により用水沿いに花大根の植栽がされ、花の咲く季節には沿道から美しい景観を楽しむことができる。 今後も天狗岩用水周辺の良好な景観形成を維持していくために、活動団体のニーズに適う支援に繋げられるように動向を見守っていく。			
 			
令和6年度清掃・保全活動の様子			
  			
花大根の植栽			

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
5 前橋駅周辺歴史的景観向上事業(3-2)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	けやき並木通りの起点であるJR前橋駅周辺は、都市的景観と歴史的景観が共存する「History×Urban」が具現化された地点であることから、駅周辺の歴史的景観を補強するための事業を立案する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆「華都 前橋」の歴史を学ぶエンターテインメント施設として、ヒストリア前橋が民主導で開館(R6.4.26) ◆駅前の上毛倉庫を活用し、民間主催でマルシェが開催された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		駅周辺の景観向上に資するための事業立案の再検討が必要である。	

令和6年度の動き

前橋駅前に歴史を学ぶ施設として「ヒストリア前橋」(民営)が開館したほか、駅前の歴史的建造物敷地内やけやき並木通りにおいて、マルシェやバルストリートといったイベントが開催されるなど民間主導の事業が活発化している。

こうした民間の動きを後押しすべく、令和7年度以降もアーバンデザインや国際コンペにより決定した都市空間デザインと整合を図りながら、本市の歴史的な景観資源を活かすため、関係部署と連携しながら、事業立案の検討を進める。



マルシェの様子



ヒストリア前橋


 前橋クリエイティブシティ
 県庁～前橋駅 都市空間デザイン国際コンペ

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1 大手門可視化・出土品活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021)～令和7年度(2025)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内において、民間の再開発事業に伴い発掘された「前橋城大手門」の石垣を保全するとともに、公開可能な形で整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆土地所有者と協議を行い、敷地内における大手門跡地の説明板等の設置について了承を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和6年度の動き 民間再開発ビルの権利者と協議を行い、当該再開発ビル敷地内において、大手門跡の説明板等を設置することについて協議し、了承を得た。			
今後の方向性 具体的な説明板のデザイン案を検討し、再開発ビルの権利者と協議を行う。 また、出土した石垣について説明板の設置と併せて現地で公開できる手法を検討するとともに、ソフト事業(AR等)によるコンテンツも検討する。			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
2 前橋公園内歴史的拠点創出事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和5年度(2023)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 前橋公園の一部は幕末に再築された前橋城の城内にあることから、幕末～明治に由来する拠点施設の整備や、歴史的景観を阻害する建築物等の美装化を実施することで、重要文化財・臨江閣との相乗効果による公園の歴史性・回遊性向上、ひいては中心市街地全体の回遊性向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆経済界向けの説明会を実施し、歴史的建造物への復元事業に関する機運の醸成を図った。(R6.12.3)

◆市民向けの出前講座を開催し、歴史的建造物の活用に関する機運の醸成を図った。(R6.6.8、R7.2.12)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和6年度の動き

経済界向けの説明資料(抜粋)

地区の歴史的建造物の現状や官民連携の力による活用の在り方について説明した。

厩橋地区の現状



ゴールはどこのか？

ゴールのヒント①

過去4回の都市消滅の危機を「官民連携の力」で克服してきた歴史を計画の柱に据える。



歴まちの基本理念

関東の華・生糸のまちの歴史を継承し
官民が連携して「前橋の誇り」を取り戻す

歴まちの将来都市像

温故創新

古きをたずねて新しきを創る

過去を共有して未来を創る

市民向け出前講座資料(抜粋)

歴史的風致維持向上計画における重点地区の取り組みを紹介し、本市の誇るべき歴史的資産について説明した。

重点区域とその取り組み

温故創新

重点区域① 厩橋地区

前橋の大局的な歴史を象徴し、最も活性化が望まれるエリア



歴史的なものと都市的なものが共存する街並みを生かして、さらなる前橋らしさを創出するため「HistoryxUrban」を基調とする。

前橋市

37

重点区域とその取り組み

温故創新

重点区域② 総社及び総社山王地区



群馬総社駅西口開設

西口開設及び南北自由通路の整備により、「歴史の宝庫」のゲートウェイ機能を強化する

養蚕農家集落の保全

令和5年度から事業実施中

道路の美装化・高質化

前橋市

41

今後の方向性について

協議会を交えた議論をし、ハード事業とソフト事業両面の実施展開の可能性について検討する。

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
3 ヒストリックランドマーク整備事業(3-3)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和5年度(2023)～令和14年度(2032)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光の核となる歴史的建造物を含めた街並みの質を向上させるため、前橋の歴史を象徴する建造物や構造物(ヒストリックランドマーク)等を整備し、エリア価値の向上やインバウンドの促進を図る。特に、各所へ至る案内板については、老朽化対策として旧町名の由来等を記した板面への更新や新設を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆専門部会の開催(R6.7.30、R6.11.14)

◆爆撃照準点(マンホール)及び旧町名(桑町)案内板について、11月30日に完成し、同日に完成披露会を行った。

◆旧町名案内板を11カ所整備した。

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1 爆撃照準点(中心点)の整備について

前橋市の中央通り商店街にある既存のマンホールを活用し、前橋空襲時における米軍の爆撃照準点をヒストリックランドマークとして整備した。また、マンホール付近に解説板を設置した。

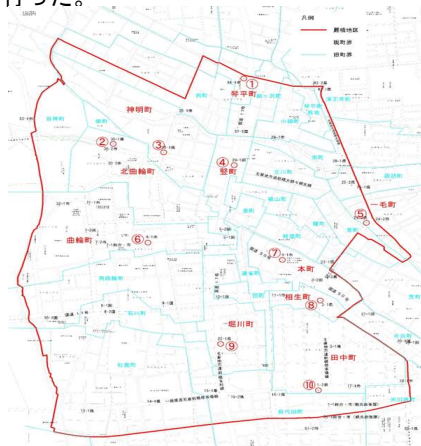


2 旧町名看板の整備について

前橋市歴史まちづくり協議会及び専門部会と協議を重ね、11箇所の旧町名看板の板面デザインの決定と整備を行った。

【整備箇所一覧】

- ① 琴平町
- ② 北曲輪町
- ③ 神明町
- ④ 堅町
- ⑤ 一毛町
- ⑥ 曲輪町
- ⑦ 本町
- ⑧ 相生町
- ⑨ 堀川町
- ⑩ 田中町
- ⑪ 桑町



看板設置例(堀川町)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
群馬総社駅整備事業(3-4)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度(2019)～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	JR群馬総社駅の西口開設に向け、進入路となる道路と駅前広場を整備するとともに、自由通路の設置や跨線橋の撤去等に伴う駅舎の改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆調整会議(交通事業者、地域住民代表、学識者、市)2回(8月9日、11月8日) ◆ワークショップを開催…3回(①6月29日(41人)、②9月29日(31人)+9月20日(15人)、 ③令和7年1月25日(31人)) ◆駅舎・自由通路基本設計竣工 3月11日			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

令和6年度の動き

- ・調整会議2回とワークショップ3回を開催し、総社駅西口駅前広場基本設計を取りまとめた。
- ・JRと駅舎・自由通路の基本設計委託契約を締結した。

"駅まち"ワークショップリーフレット

群馬総社駅まちレター

群馬総社駅まちワークショップ 第5回(最終回)開催報告書

群馬総社「駅まち」ワークショップとは
前橋市では令和12年度の供用開始を目指し、JR群馬総社駅の西口開設・駅舎・東西自由通路の整備、西口駅前広場・西口アクセス道路の整備等1事業に取り組んでおります。この事業を契機に群馬総社駅が格段に活気づき、景観に親しみを抱いていただける駅となるよう、群馬総社駅周辺がどうなるか、新しい「駅まち」でどのように過ごしたいかなど、皆様と一緒に群馬総社駅の未来について考えるワークショップを開催しています。

「群馬総社駅周辺」と「駅まちエリア」とは？
群馬総社駅周辺：群馬総社駅を中心とした徒歩圏エリア(群馬総社駅を中心に南北半径100m、東西半径50m)
駅まちエリア：群馬総社駅を中心としたエリア(群馬総社駅を中心に南北半径100m、東西半径50m、駅前広場、駅前道路、駅前公園、駅前ビルなどを指す)

群馬総社「駅まち」ビジョンとは
群馬総社駅周辺の地域特性と令和5年度に開催した駅まちディスカッションで、参加者の意見からいただいたアイデアをもとに、「駅まちらしい」駅を中心としたまちづくり実現のための方向性をまとめたもの。

第5回 ワークショップ開催概要
日 程：2025年1月25日(土)13:30-15:30
場 所：総社市民サービスセンター ホール
参加者：31名

ワークショップ全体の振り返り
第1・2回では、群馬総社駅周辺の将来像や駅まちエリアコンセプト等をまとめた「群馬総社「駅まち」ビジョン」の作成に向けて、駅周辺や駅まちエリアがどのようなものになるか考えました。
第3・4回では、「群馬総社「駅まち」ビジョン」を踏まえながら、西口駅前広場の整備イメージ作成に向けて、西口駅前広場がどうなればよいのか、どのように過ごしたいかなどアイデアを出し合いました。

■これまでのワークショップ概要
第1回(2024.1.28)
* 群馬総社駅周辺の将来像(ランドデザイン)を考えよう
* 新しい駅まちエリアの使い方を考えよう
第2回(2024.3.2)
* 群馬総社駅周辺の将来像(ランドデザイン)を確認しよう
* 「駅まちタイムライン(1日の流れ)」を考えよう
第3回(2024.6.29)
* シーンから西口駅前広場の「しつらえ」を考えよう
* 西口駅前広場のレイアウトを考えよう
第4回(2024.9.29)
* 交流広場の配置およびロータリー内の配置を確認しよう
* しつらえのレイアウトについて考えよう

→群馬総社「駅まち」ビジョン作成
→西口駅前広場整備イメージ作成

ワークショップの様子



西口駅前広場イメージパース



駅舎・自由通路基本設計イメージパース



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
1 文化財・歴史文化遺産の活用について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の適切な管理を進めるとともに、整備・活用を推進して、その価値を損なうことなく次世代へと引き継ぐ。また、市民の啓発のために、各普及事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下記参照。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1 総社古墳群の国指定史跡化手続きについて(統合・追加指定) これまで個別に史跡指定されていた3つの古墳(二子山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳)を統合し、2つの古墳(遠見山古墳及び愛宕山古墳)を加えた総社古墳群として国指定史跡に指定された。 2 未指定建造物の調査について 実施せず。 3 普及啓発事業(主なものを抜粋) - 前橋・高崎連携事業文化財展(高崎R7.1.14～1.22、前橋R7.1.25～2.9) 前橋市及び高崎市の貴重な文化財等を両市で展示し、文化財への理解と活用を図る。 - 新出土文化財展2024(R6.10.29～11.10) 令和5年度に前橋市内で行われた発掘調査の成果を臨江閣で公開。 - 夏休み小学生向け考古学教室(R6.7.25・26、8.23) 総社歴史資料館で、はにわ、土偶、勾玉、古墳ジオラマ、古代鏡作りの体験教室を実施(参加者101名)。 - 前橋空襲一斉慰霊祭(R6.8.5) 市内5つの神社、寺院、教会にて実施。(参加者111名)各施設間のバスツアーも実施。 - 粕川歴史民俗資料館(R6.4.27～9.1、R6.10.26～R7.2.24) 春季・秋季企画展とそれに伴い有識者や専門家による講座を開催。 - まえばし古墳の教室(R6.12.19・20、R7.1.17、R7.2.14) 人物埴輪、古代文様タイル、三角縁神獣鏡チョコレートづくりなど、大人向けに実施(参加者56名)。 4 その他の事業 月田近戸神社中世石造物群の市指定重要文化財指定、上野国府等範囲内容確認調査			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
2 酒井氏歴代墓地整備推進事業(1-2)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	大珠山是字寺龍海院の敷地内にある酒井氏歴代墓地における危険箇所の修理等に対し、技術的・財政的な支援を行う。また、移封した後の藩主も含めた歴代の墓が揃う極めて貴重な史跡であることから、その価値を明らかにすべく各種調査・事務手続きを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆寄附受け入れに向けた所有者との協議を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和5・6年度の動き ・墓地の所有者が市への寄附を希望しているため、寄附に伴う所有権移転の前提となる相続登記へ向けた相続人の特定作業を行っていたが、おおよその目処がついてきている。 ・法務局や墓地の管理者を含め、各手続きの条件について整理を行った。 ・引き続き、寄附をはじめ、各手続きの条件を整理し、時期を見て手続きを進めていく。			
酒井氏墓地(9代 酒井忠恭)		酒井氏墓地(北から南向きに撮影)	
			
案内板(墓地内概略図)			
			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
3 文化財保存活用地域計画策定事業(1-3)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定・未指定に関わらず、文化財を幅広く捉え、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて総合的に保存、活用していく市の基本的な考え方や文化財保護行政の方向などを示した「文化財保存活用地域計画」の策定を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆文化財専門職員の採用・・・R6年度に文化財専門職員の採用募集を行った。実績1人／計画1人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・建造物等調査については、予算化に向け、財源を確保するなど粘り強く要求を続ける。 ・計画の策定体制の確立		
状況を示す写真や資料等			
令和5、6年度の動き ・文化財の専門職員の採用を行い、人材の確保を図った。 ・未指定文化財を含めた各地域の文化財の基礎資料を整理・収集した。 ・補助金等の活用を見込んだ事業計画を作成する。 ・未指定を含めた文化財のリスト化を進めるとともに、建築物調査について予算化する。			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
4 未指定建造物等調査計画策定・実施事業(1-4)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	まずは未指定・未登録の歴史的建造物を明らかにし、長期的視点から調査計画を立案する。計画策定後、文献調査、関係者へのヒアリング調査、現地調査等を行い、必要に応じて文化財指定・登録を進める。また、未指定建造物の保全に向けて、歴史的建造物保存活用条例の制定についてもあわせて検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆内部での検討を実施し、予算要求を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・文化財保存活用地域計画策定事業(④-3)と連動して進めていく必要がある。 ・調査に必要な専門人員を確保するため、内部での調整や専門職の採用を進める。	
状況を示す写真や資料等			
令和5、6年度の動き ・建造物の調査については、悉皆調査の対象を昭和50年までに建てられた建造物及び過去の調査からの変更箇所とする見込みである。 ・④-3で記載したとおり、現時点では悉皆調査の予算を確保することが難しいため、補助金等の歳入を見込んだうえで、調査に着手することを目標とする。			

評価軸④-5

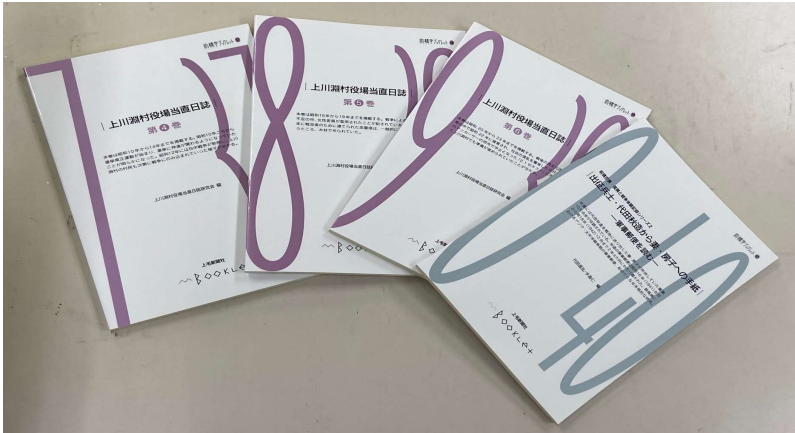
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
5 民俗芸能・祭礼行事等支援事業（1-5）			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財を含めた民俗芸能や祭礼・地域行事などに対し、活動そのものの支援のみならず、必要に応じて学識経験者の指導・助言を得ながら、調査・記録、情報発信を支援し、将来に向けた保存・継承、担い手の確保、地域の活性化を促進する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
◆第50回前橋市郷土芸能大会を実施した。（R6.11.16 来場者数 400人 出演5団体） ◆各地域の伝統芸能保存のため、神楽、獅子舞、囃子、古謡語り物等の祭礼奉納行事を実施した。 ◆産泰神社太々神楽・二之宮式三番叟・薪能まつりを開催した（R6.5.18）※隔年開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域の過疎化、保存会員の高齢化に伴う、次世代の担い手確保が困難になっている。限られた経費の中で保存活動をしているところが多いため、活動補助費の確保及び広報を主体に支援予定である。		
状況を示す写真や資料等			
令和6年度の動き 各地域に伝わる伝統芸能や神社に古くから伝わる太々神楽を、多数集客しての演能形成で披露することで、本市の伝統芸能や歴史文化の発信や、伝統芸能に携わる市民の技術向上に寄与した。			
第50回前橋市郷土芸能大会			
			
産泰神社太々神楽		二之宮式三番叟	
			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和6年度
年月日		掲載紙等	
①ヒストリア前橋4月26日開館「四つの危機」乗り越えた「民力」	令和6年4月24日	前橋新聞 mebuku	
②臨江閣に指定管理者 県内の国重文初 民間の力で活用幅広く	令和6年5月31日	上毛新聞	
③前橋空襲の記憶 マンホール刻む	令和6年12月1日	上毛新聞	
④3カ年30カ所整備 旧町名の案内板整備事業	令和7年2月28日	群馬建設新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
歴まち関係記事については、およそ正確に伝えられており市民への周知の効果も考えられることから、計画の進捗に好影響があると言える。 新聞記事の内容(抜粋) ①ヒストリア前橋4月26日開館「四つの危機」乗り越えた「民力」 江戸時代から現代までの前橋の復興の歩みを学ぶ歴史エンターテインメント施設「ヒストリア前橋」がJR前橋駅北口のアクエル前橋内に完成、4月23日、開所式が開かれた。400年の間に前橋市を襲った「四つの危機」を乗り越えた先人たちの「民力」が創った「華都 前橋」の歴史を最新のデジタル映像で体感できる。開業は4月26日。 ②臨江閣に指定管理者 国指定重要文化財の臨江閣(前橋市大手町)を所有する市は来年4月から、同施設へ指定管理者制度を導入する。市議会第1回定例会最終日の30日、関係する条例改正案が可決された。2019年の改正文化財保護法は文化財の活用にも積極的に取り組むよう定めているが、現在、県内市町村が所有する国重文で指定管理者制度を取り入れた建造物はない。市は、民間の力を活かしながら臨江閣の価値を高め、幅広い活用を促したい考え。 ③前橋空襲の記憶 マンホール刻む 前橋空襲(1945年8月5日)を語り継ぐため、米軍がターゲットと定めた「爆撃照準点」をデザインマンホールの完成披露会が30日、前橋市の前橋中央通り商店街で開かれ、関係者や歴史に関心を持つ市民らが空襲の記憶を共有した。マンホールはまちなかサロン前の丁字路に設置。この丁字路は米軍が前橋空襲の中心地とした「爆撃照準点」に当たり、半径1.2キロ圏内に焼夷弾が集中投下されたという。近くの小道には、空襲時に米軍が使った図や当時の中心商店街の写真、旧町名の「桑町」について解説する案内板を設けた。会合では、関係者が空襲日付が刻まれたマンホールを除幕し、通行の安全を祈願して打ち水が行われた。小川晶市長は「空襲の記憶をどう引き継いでいくかが大事なテーマ。たくさんの人が訪れるまちになっているが、語り継いでいかなければならない歴史があることを一緒に感じてほしい」と挨拶した。群馬地域学研究所の手島仁代表理事が歴史を解説。米軍は全国180カ所を攻撃の候補とし、本県では、前橋、高崎、桐生、伊勢崎の4都市が狙われ、爆撃照準点は各都市の密集地の交差点などに設定されたと述べた。アメリカ側の資料が公開されて都市空襲の研究が進んだとし、「爆撃照準点は空襲の記憶を残す手掛かりだ」と強調した。この後、市民学芸員によるガイドツアーが開かれ、約20人の市民が参加。無縁仏を供養した教徳寺の親子地蔵尊など前橋空襲を伝える市内の史跡を巡った。 ④3カ年30カ所整備 旧町名の案内板整備事業 前橋市は道路に点在する既存の周辺案内板を活用し、市にあった旧町名の由来などを記した案内板を更新する。2024年度は3月中旬までに10ヶ所の案内板を整備する。25～26年度に20カ所を整備する予定。 事業は、歴史まちづくり計画に位置づけた「ヒストリックランドマーク整備事業」の一環として行う。旧町名を懐かしむ市民も多く、旧町名の記憶が後世に語り継がれることを目的として実施するもの。旧町名の案内板は3カ年で約30カ所整備。			

項目		評価対象年度	令和6年度
1 市民学芸員養成事業(1-8)、前橋学ブックレット発行事業(1-10)			
計画に記載している内容	「前橋学」の担い手となる人材を育成するとともに、歴史資料調査や歴史観光ガイドなどの実践の場を提供する。特に、歴史観光ガイドについては、ガイドスキルの質的向上と平常化に向けたガイドマニュアルを整備する。前橋の誇れる先人、素晴らしい自然、埋もれた歴史を後世に語り継ぐため、前橋学ブックレットを発行する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 本事業は、歴史的風致維持向上計画策定前から実施している事業であり、同計画の礎となった事業である。前橋学ブックレット発行事業により市内の歴史を掘り起こし、また、市民学芸員を養成し、市民が自ら住まう地の歴史を伝えることは、同計画の進捗に好影響を与えていると評価できる。 ◆認定した学芸員・・・27人 ◆発刊したブックレット数・・・4冊		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
◆市民学芸員養成講座 第10期前橋市民学芸員養成講座を令和6年5月から8月までに15回にわたり、実施した。講座は前橋ゆかりの著名人や歴史上の人物、出来事等をテーマに、各回に合わせたスペシャリストによる講演を受講するとともに、市民学芸員に必要な実技演習を行うという内容となっている。			
			
◆前橋学ブックレット発行事業 1927(昭和2)年から1948年(昭和23)年の上川淵村内の出来事を記した日誌をまとめた「上川淵村役場当直日誌」の4～6巻及び「前橋空襲・復興と戦争体験記録シリーズ2ー出征兵士 代田秋造から妻房子への手紙ー軍事郵便を読むー」を発刊した。			
			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第5回前橋市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和7年5月19日	
(コメントの概要) ②－5 前橋駅周辺歴史的景観向上事業 国・県・民間事業者との連携に努め、事業を推進してほしい。 ③－4 群馬総社駅整備事業 現時点での利便性向上だけでなく、歴史的な要素も反映できるよう十分に議論をつくして進めてほしい。 ④－1 文化財・歴史文化遺産の活用について 埋蔵文化財に加えて、歴史的風致維持向上計画の普及・啓発も行うこと。 ④－3 文化財保存活用地域計画策定事業 早期に策定に着手するようにお願いしたい。 ④－4 未指定建造物等調査計画策定・実施事業 早期に方向性を示し、調査に着手するようにお願いしたい。	
(今後の対応方針) 行政機関内の関係部署同士の連携、官民連携を引き続き強化し計画の推進に努める。 今後、歴史まちづくりでは、具体的に何を核としていくか、前橋市歴史まちづくり協議会で戦略的な議論を重ねていく。	